

第1章 再整備構想策定の背景と目的

【背景】豊中市では、平成9年(1997年)に、行政と市民との役割分担や協働のあり方を明らかにした「豊中駅前のまちづくりについて(基本方針)」(以下「基本方針」)を策定。策定から約20年が経過し、豊中駅周辺地区では人口・世帯構成や交通量、建物更新・建物用途の変化、都市基盤の整備が進行。

【目的】当地区を取り巻く現状からまちづくりの課題を明らかにし、基本方針の実現に向け、優先的に取り組むべき内容を取りまとめ、豊中駅周辺再整備構想の策定を行いました。

第2章 『まちづくり構想』及び『基本方針』の概要

『基本方針』の概要

公共施設整備	南吉野線の延伸と(府)豊中亀岡線の拡幅及び交差点改良	
	②安全な歩行空間の確保 銀座通りのモール化による駅前への交通量の低減 豊中柴原線(一番街)の交通規制 豊中亀岡線と東豊中線の交差部分の改良	
	③主要な生活道路の確保 市道本町第54号線の拡幅 市道本町第51号線の沿道整備	
再開発や共同化	1-F街区の面的整備の検討 1-C街区を中心とした面的整備の検討 1-B街区の防災性能や快適性の向上	
	建築物等の誘導	市道本町第54号線における建物のセットバックによる道路用地確保 豊中柴原線(一番街)沿道のセットバックによる歩道状空地、公開空地の確保 東豊中線(銀座通り)沿道の歩行者空間の充実

第3章 豊中駅周辺の現状

【商業環境】

- 近年のマンション立地の進行により、周辺地区の人口は平成7年の1.25倍まで回復、卸売・小売業の事業数は近年減少傾向
- 豊中駅の乗降客数も近年減少傾向

【道路・交通環境】

- 阪急高架化、駅前広場、関連都計道路の整備が完了
- 幹線道路の交通量は減少、渋滞は改善傾向
- 地区内の生活道路は依然狭幅員な道路が多く、商店街(銀座通り・一番街)の歩道幅員が狭く感じられる。

第4章 アンケート調査について

豊中駅周辺地区の今後のまちづくりへのニーズ等を把握することを目的として、令和元年度に居住者(商業者を含む)、来訪者、地権者等を対象とするアンケート調査を実施。

アンケート調査結果(詳細は本編を参照)

【魅力的なまちになるために必要なこと】

- 居住者・来訪者ともに「歩行空間の安全確保」、「衣服や家電、趣味や生活雑貨を扱う店舗」がいずれも約5割

【事業がしやすくなるために必要なこと】

- 「駐車・駐輪スペース」、「駅利用者が駅周辺に出かけたい動線や魅力」、「若い人が集まる店舗や場所」がいずれも約5割

【まちをより良くするために優先度が高い取り組み】

- 居住者は「老朽化・狭小住宅の密集エリアの改善」、「賑わい向上」、「行政・福祉サービスの充実」、「文化的機能の充実」が約5割、「娯楽、ゆとり空間の創出」が約4割
- 事業者は「賑わいの向上」が6割強、以下は居住者同様

【交通環境をより良くするために優先度が高い取り組み】

- 居住者は約7割が「安全で快適な歩行空間」と回答。「駐輪場整備・自転車走行環境の充実」が約6割、「生活道路の拡幅」が約5割

第5章 まちづくりの課題

交通環境面での課題	商業環境面での課題	都市防災面での課題	まちづくりの取り組みに関する課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>■安全・快適な歩行者、自転車の通行環境の確保</li> <li>■通過交通の流入抑制と幹線道路の円滑性確保</li> <li>■駐輪スペース及び駐車スペースの確保</li> <li>■主要な生活道路の拡幅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■魅力的な商業・文化サービス機能の立地促進</li> <li>■新たな店舗の立地を支援する商業環境の整備</li> <li>■居住環境との調和に配慮した賑わいづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■身近なオープンスペースの確保</li> <li>■老朽家屋や狭小住宅が密集するエリアの改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■まちづくりに向けた地域の取組支援</li> </ul>

第6章 まちづくりの方針

6.1 まちづくりの基本的な考え方

- ◆「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成
- ◆新たなつながり・コミュニティの形成

6.2 まちづくりの取組方針

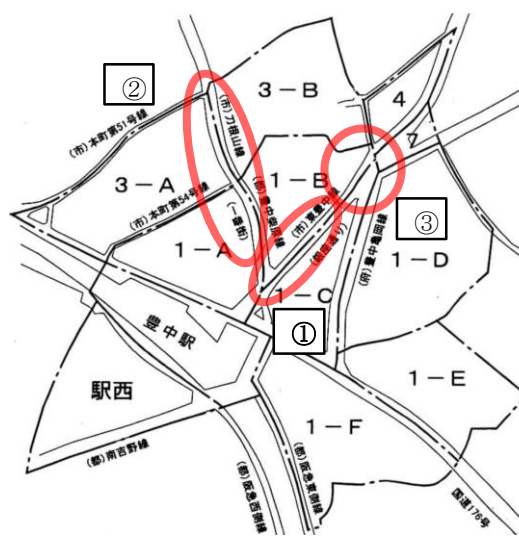
- 道路空間の再編による歩行者空間の充実と賑わいの創出
- 再開発や共同化による街区内の安全性・快適性の向上
- 建築物等の誘導による歩行空間やゆとり空間の充実
- 賑わい創出に向けたソフト施策の推進とまちづくり活動の支援

6.3 優先的に取り組む施策

「銀座通り・一番街」を中心とした歩行者空間の拡充と賑わいづくりに向けた道路空間の有効利用

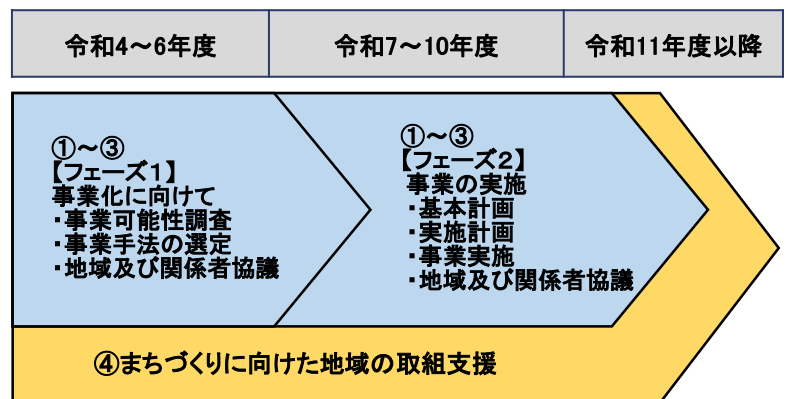
6.4 優先的な取組項目

公共施設整備	①銀座通りの道路空間の再編整備と空間活用方策の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歩行者・自転車の安全性向上や快適な歩行空間の実現を目指すため、道路空間の再配分や通過交通の流入抑制を図ることを検討</li> <li>●オープンカフェなど、賑わいづくりのための道路空間利用について、地域と協働で検討</li> </ul>
	②一番街の道路空間の再編整備と空間活用方策の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>●車両の速度抑制などにより、歩行者・自転車の安全性向上や快適な歩行空間の早期実現を目指す。</li> <li>●銀座通りと連携し、賑わいづくりのための道路空間利用について、地域と協働で検討</li> </ul>
	③豊中亀岡線と東豊中線の交差部分の改良	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歩行者や車両のより安全で円滑な通行を確保するため、関係機関・地域と協働して検討</li> </ul>
	④まちづくりに向けた地域の取組支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域が主体となったソフト的なまちづくり活動の取組支援</li> </ul>



第7章 スケジュールと進行管理

7.1 再整備構想の進め方



7.2 進行管理について

本構想の進行管理にあたっては、フェーズに合わせて施策の内容及び進捗状況についての調査・分析・評価を行い、その結果を公表するとともに、必要に応じて施策に反映。